

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第3回 理事会
議事録

日 時：2020年3月18日 水曜日 19:00～21:30
場 所：迎賓會館 紡希 ～台町朔～
出席者：出欠表参照

1. 開会宣言 : 金子隼人専務理事
2. JCI Creed 唱和 : 加藤弦太理事
3. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和 : 西方太地理事
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 : 高頭直人理事
5. 長岡 JC 宣言唱和 : 長谷川繁理事
6. 議事録作成人の指名 : 総務委員会 (渡邊重仁)

7. 定足数の確認及び配布資料の確認

定足数：19時5分、理事 37名 中 31名 を確認。出席率 89.1%

定足数を満たし、会議の成立が宣言された。

当日配布資料：ファイル名 20riji_03

8. 理事長挨拶 (別紙) : 今泉知久理事長
9. 直前理事長挨拶 : 上村英輔直前理事長欠席の為割愛

10. 議長選出

定款第37条第1項の規定により、今泉知久理事長が議長に選出された。

11. 前回議事録の承認(別紙)

第2回理事会議事録は、全会一致を持って承認された。

12. 審議事項

【A. 特別議事】

(1) 入会願いの承認に関する件

①居藤正人君の入会が全会一致を持って承認された。

②永島一樹君の入会が全会一致を持って承認された。

③金澤豊和君の入会が全会一致を持って承認された。

(2) 休会願いの承認に関する件

①石塚昌紀君の休会願いが全会一致を持って承認された。

【B. 一般議事】

(1) 「一般社団法人長岡青年会議所 2020年度新年会」補正事業計画書について

土田慶和65周年特別委員会委員長より1回目の上程が行われ、審議の結果、全会一致を持って承認された。

- (2) 2020年度新年会 事業報告並びに決算(案)について
土田慶和65周年特別委員会委員長より1回目の上程が行われ、全会一致を持って承認された。
- (3) 「メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ」について
荒木法子より良く長く委員会委員長より4回目の上程が行われ、全会一致を持って承認された。
- (4) 5月公開例会「狼煙」～熱い想いで火を起こせ～ 西野亮廣氏講演会 修正予算案について
兼古健太まちづくり委員会委員長より1回目の上程が行われ、全会一致を持って承認された。
- (5) 「2020年度 トレーニングセミナー 身につけよう!コミュニケーション ～ HOW TO KEEP RELATIONSHIPS ～」事業計画について
渡邊雄也人財育成委員会委員長より2回目の上程が行われ、全会一致を持って承認された。

13. 協議事項

- (1) 2020年度新年例会事業報告並びに決算(案)について
下条祐貴総務委員会委員長より上程され、協議の結果、次回再上程となった。
- (2) 「一般社団法人長岡青年会議所 2020年度新年会」 補正事業計画書について
土田慶和65周年特別委員会委員長より上程され、協議の結果、審議事項に格上げとなった。
- (3) 2020年度新年会 事業報告並びに決算(案)について
土田慶和65周年特別委員会委員長より上程され、協議の結果、審議事項に格上げとなった。
- (4) 「メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ」について
荒木法子より良く長く委員会委員長より上程され、協議の結果、審議事項に格上げとなった。
- (5) 5月公開例会「狼煙」～熱い想いで火を起こせ～ 西野亮廣氏講演会 修正予算案について
兼古健太まちづくり委員会委員長より上程され、協議の結果、審議事項に格上げとなった。
- (6) 「2020年度 トレーニングセミナー 身につけよう!コミュニケーション ～ HOW TO KEEP RELATIONSHIPS ～」事業計画について
渡邊雄也人財育成委員会委員長より上程され、協議の結果、審議事項に格上げとなった。

15. 報告・依頼事項

- (1) 退会届について
金子隼人専務理事より、西巻克哉君の退会届について 報告があった。
- (2) 長岡青年会議所謄本について
金子隼人専務理事より、長岡青年会議所謄本について報告があった。
- (3) コロナウイルスの影響について
今泉知久理事長より、コロナウイルスの影響や活動について報告があった。

(4) 会員拡大に関する件

渡邊雄也人財育成委員会委員長より会員拡大の依頼があった。

(5) 20バスケットボールクラブに関する件

土田慶和バスケットボール主将より、NBC会員交流バスケットボール大会 in 雪国の参加依頼があった。

(6) 5月例会チケット販売に関する件

兼古健太まちづくり委員会委員長より、5月例会チケット販売案内、強化の依頼があった。

(7) 4月例会に関する件

荒木法子より良く長く委員会委員長より、4月例会参加の依頼があった。

16. 次回開催日の確認

日時：令和2年4月15日（水）19：00～

場所：社会福祉センタートモシア 研修室1～4

17. 監事講評（別紙）

：北澤晶監事

18. 閉会宣言

：金子隼人専務理事

年 月 日 曜日

理事長：

監事：

監事：

監事：

議事録作成人：

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第3回 理事会
議事録（別紙）

8. 理事長挨拶 : 今泉知久理事長

皆さんこんばんは。久しぶりに皆さんの顔を見て、皆さんも久しぶりに知った顔にあって、心なしか顔が緩んでいると思います。僕自身、久しぶりに知った顔、馴染みのある顔をみると、テンションが上がっている自分があります。こういうのが仲間なんだなというのを改めて感じる今日この頃です。先ほど冒頭で西方太地君からも話があった通り、コロナの影響で250兆円の経済損失が生まれているという話がありました。でも、今だから出来ること、挑戦出来ることってやっぱりいっぱいあると思います。たとえば普段JCをやっているとなかなか一緒に飲みに行けない方が結構いると思います。僕ら自身も普段飲み疲れて、わざわざ他の会に行かなくても良いとか、相手も忙しい方だったりすると、なかなか飲みに誘えない方ともいますが、僕は、今そういう方を誘ってJCのメンバーの店を紹介したりして、いろいろと活動をしています。

何事もピンチはチャンス。今だから出来ること、そういうことはすごくいっぱいあります。消極的な気持ちのときこそ、前向きな行動をしましょう。それをするのが我々青年会議所かなと思っています。今日一日前向きな理事会にしていきたいと思います。

11. 前回議事録の承認

【議事録署名人】北澤晶監事

議事録の方、確認させて頂きました。荒木法子より良く長く委員会委員長が大変頑張っていた形跡を活字にて確認させて頂きました。よくまとまっておりました。活字での議事録を理事の皆さんも確認して頂きまして、議論を声で交わしているだけでなく、活字になった状態で本当に委員長が言いたいこととか、逆に委員長としては理事が言いたかったこととかを活字で再度確認してもらうことによって、また違った見方が出来ると感じました。議事録について理事の皆さんも有意義に活用して頂いて、建設的な議論が出来るようにして頂ければと思います。以上です。

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

12. 審議事項 : 今泉知久理事長

【A. 特別議事】

(1) 入会願いに関する件

- ①居藤正人君
- ②永島一樹君
- ③金澤豊和君

【補足】小川文太理事より

居藤正人君を推薦します。入会の承認をお願いします。

【補足】中村洋志理事より

永島一樹君を推薦します。入会の承認をお願いします。

【補足】田中勝也理事より

金澤豊和君を推薦します。入会の承認をお願いします。

【採決】挙手にて行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

(2) 休会願いの承認に関する件

①石塚昌紀君

【採決】挙手にて行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

【B. 一般議事】

(1) 「一般社団法人長岡青年会議所 2020年度新年会」 補正事業計画書について

【説明】細川一彦副理事長

今ほどは審議格上げありがとうございました。引き続きよろしく申し上げます。

【説明】土田慶和65周年特別委員会委員長

今ほどは審議格上げありがとうございました。皆様の慎重審議のほどよろしくお願い致します。

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

(2) 2020年度新年会 事業報告並びに決算(案)について

【説明】細川一彦副理事長

今ほどは審議格上げありがとうございました。様々な意見を頂き大変ありがとうございました。一点だけご報告させていただきますが、新年会の日程については、今年度については理事長、専務理事、私の方で各種団体の様々な新年会がある中で、空いている日を決めさせて頂いた結果このような日程となりました。新年例会と一緒にしなかったのは、この日ですどうしても新年例会の始めが遅すぎるため、別日にさせて頂きましたので、日程について委員会の方で決めたわけではないので、その辺ご留意頂ければと思います。それでは土田慶和65周年特別委員会委員長お願いします。

【説明】土田慶和65周年特別委員会委員長

今ほどは審議格上げありがとうございました。慎重審議のほどよろしくお願い致します。

O：土田雅彦理事

お疲れ様です。例年やはり来賓の方が来られた時にバタバタしたり、慌ただしくなるというのは毎年のことで、引継事項もそれほど毎年変わっていないと思います。その中でも毎年スムーズに、また、よりスムーズにという風に良くなってきている新年会であると思います。ぜひとも引継事項を次年度以降にも引き継いで頂き、より良い新年会にして頂けたらと思います。意見も出尽くしたようですので採決に移ってはいかがでしょうか。

【採決】 挙手にて行われた。

【採決結果】 全会一致を持って承認された。

土田慶和 65周年特別委員会委員長より一言

今ほどは審議可決頂きありがとうございます。新年会は例年行われることで、できて当たり前という事業の中で、いかに滞りなく、かつ新しいことに取り組んでいければという所で、次年度以降の委員会の方に細かい所まで引継を行っていきたいと思います。今年度は皆様も65週年ということで特別会員の方と交流した際に、皆様が65周年に来て下さいということを書いて頂いているのを聞いておりましたので皆様どうもありがとうございました。今、式典、祝賀会について議案を作っている中でありますが、全メンバー巻き込んでいきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

(3) 「メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ」について

【説明】 五十嵐佑一常任理事

今ほどは審議への格上げありがとうございます。引き続き慎重審議よろしくお願い致します。

【説明】 荒木法子より良く長く委員会委員長

今ほどは審議格上げありがとうございます。引き続きよろしくお願い致します。

Q: 小熊孝幸理事

4回目の上程ということで、当初の理事会からそうですが、問題点としては背景目的、1,000円の補助に尽きると思いますが、ここまで延びた要因としてはどのようにお考えでしょうか。

A: 荒木法子より良く長く委員会委員長

ありがとうございます。いろいろな要因があるかと思いますが、大きな点としましては、皆様から頂いた意見がそのまま議案書に反映できていなかったということがあると思います。皆様のご意見を頂いたことで今回より良い議案になったと思います。ありがとうございます。

O: 小熊孝幸理事

私もこの議案に関していろいろ意見をさせて頂きましたが、話しているとどうしても最後に委員長は「委員会の総意」、「チーフの想い」とい言葉がどうしても出るのですが、結局それをやり続けた結果ここまで議案が理事会を通過できない状況があったと思います。この理事会を活かしてもらって、理事の意見を丸々全部聞けとは言いませんが、なるべく理事の意

見を真摯に受け止めてもらって、こういったことが無いように、これを教訓に議案書の構築をしていって頂ければと思います。意見も出尽くしたようですので、採決に移ってはいかがでしょうか。

Q：田中勝也理事

お疲れ様です。金額についてははっきりとした金額を教えてください。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

金額については、一般の参加者限定200名は2,000円、青年会議所のメンバーからは申し訳ございませんが正規の金額3,000円を頂きたいと思っております。

Q：田中勝也理事

ありがとうございます。青年会議所のメンバーは任意ということですね。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

そういうことになります。

O：田中勝也理事

承知致しました。

O：今泉知久理事長

先ほど審議の動議がありましたが、採決に移ってもよろしいでしょうか。

【採決】 挙手にて行われた。

【採決結果】 全出一致を持って承認された。

荒木法子より良く長く委員会委員長より一言

今ほどは審議格上げ、採決をして頂きまして本当にありがとうございました。既にこの事業は計画よりも遅くなっておりまして、これから一生懸命多くの人を巻き込んで、多くの人に歩くことの良さ、そして健康づくりの習慣化をしっかりと促して結果を出していきたいと思っております。ぜひ皆様にもチャレンジして頂きたいと思っておりますので、またしつこくお電話させて頂くかもしれませんがどうぞよろしくお願い致します。引き続きより良く長く委員会はこれからもまた事業がいろいろとありまして、ロードマップ上にもあります通り続いていくものでありますので、引き続き皆様からのご意見を頂きながらより良くしていきたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

(4) 5月公開例会「狼煙」～熱い想いで火を起こせ～ 西野亮廣氏講演会 修正予算案について

【説明】 関光太常任理事

今ほどは審議格上げありがとうございました。引き続き慎重審議のほどよろしくお願い致します。

【兼古健太まちづくり委員会委員長】

今ほどは格上げありがとうございました。SNSを使って今まであまり告知をしたことがなかったと思いますが、今回2か月弱告知をしてみて良い成果が出たらと思っております。よろしくよろしくお願い致します。

Q：土田雅彦理事

理事長への質問になるかもしれませんが、今後こういったコロナウイルスの影響で、例会等が開催出来るかどうか、延期または中止という目安や日程、判断基準がもしあれば今後の活動をしていく上で皆様も知っておきたい所であると思いますので、もしあれば一言お願いしたいと思います。

A：今泉知久理事長

この案件につきましては、この後の「報告・依頼事項 報-03 新型コロナウイルスの影響について」の部分で私の方から説明させて頂こうと思います。

O：土田雅彦理事

そういうことでしたら承知致しました。特に私からは意見はありません。

Q：小熊孝幸理事

委員長というよりは財政局長に確認したいのですが、まちづくり委員会の収支、修正予算と、新年会の収支、修正予算の作り方が違いますが、これは特段問題ありませんでしょうか。

A：高田光財政局長

ありがとうございます。新年会の方は補正予算で、事業が終わった後の補正、今回は事業が始まる前の修正のため変わっております。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。もう一点、もう一度確認したいのですが、先ほど高田光財政局長がおっしゃっていたのですが、私自身がそうだったので違うようでしたらその通りにするのですが、支払は事業当日か事業後に支払うようにと会計のときに教わっていましたが、そういうわけではなく、事前に払っても問題ないという認識でこれからやっていってよろしいでしょうか。

A：高田光財政局長

今回の場合はチラシですが、印刷した時点で既に終わっているということであり、会社にとっても支払サイクル等がありますので、そういう意味では先方の都合に合わせて支払うということで良いかと思います。基本的には終わった後が多いと思いますが、今回の場合は既に報告済みのものは支払っても問題ないかと思います。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。こういったものは、中間監査や期末監査では指摘を受けないという認識でよろしいでしょうか。

A：高田光財政局長

もし何かありましたら相談して頂ければと思いますので、基本的には問題ないかと思いません。

O：今泉知久理事長

しばらくもってないようですので、採決に移りたいと思いますがよろしいでしょうか。

○：一同

異議なし。

【採決】挙手にて行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

兼古健太まちづくり委員会委員長より一言

現状、コロナウイルスの影響でチケットの販売が止まっております。また、先輩に皆さんいろいろなメンバーの方が自分の見解で「中止になるんだって？」とか「延期になるんだって？」という言葉先輩から伺ったことも今回ありましたので、皆さん正しく情報をお伝え頂いて、また、周りで間違っている人がいたら、「中止になるんだって？」と言われたら否定して下さい。基本的には実施する方向でやりますが、コロナの影響を受けたら延期をまず初めに考えたいと思っております。

今現状、中止になる、延期になるという判断はしておりませんので、そこの所お話しがありましたら修正して下さい。よろしくお願い致します。

(5)「2020年度 トレーニングセミナー 身につけよう！コミュニケーション ～ HOW TO KEEP RELATIONSHIPS ～」事業計画について

【説明】大川俊泰常任理事

今ほどは審議格上げありがとうございました。引き続きよろしくお願い致します。

【説明】渡邊雄也人財育成委員会委員長

今ほどはありがとうございました。慎重審議の方よろしくお願い致します。

Q：小熊孝幸理事

お疲れ様です。審議格上げおめでとうございます。現状で結構ですが、コロナウイルスに関しては講師の方はどのような感じでしょうか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

ありがとうございます。現状、ANAとやり取りをしております、講師の方はマスク着用にてやったださるという風に回答を頂きました。ただ、延期、キャンセルが相次いでおりまして、1か月前までキャンセル料がかからないということです。それまで様子を見るということです。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。もう一点、想いをお聞かせ願いたいのですが、この事業の開催日が土曜日、そして早い時間帯ということで、かなりメンバーの集客的には不利な事業かと思われませんが、最初から来てもらうための巻き込みと、委員長の想いがあれば聞かせて下さい。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

ありがとうございます。5月30日ということで運動会というものが毎年トレーニングセミナーで懸念される所ではありますが、早い段階で5月30日に事業を行うということを決定し、一人一人にこの事業は社業でも、これからのJC活動でも、そして普段の生活でも使えるとても

有効的なスキルとなるということを一人一人電話させてもらって、出席率を上げていきたいと考えております。

○：小熊孝幸理事

ありがとうございます。当日楽しみにしております。意見も出尽くしたようであれば、採決に移られてはいかがでしょうか。

○：今泉知久理事長

今ほど採決の動議がございましたが、ご意見ある方挙手にてお願いします。最後、小川委員長今日何も意見されていないようですのでお願いします。

○：小川文太理事

お疲れ様です。素晴らしい議案であると思います。コロナウイルスの影響もあると思いますが、その状況の中で大変かと思いますが、今回3月例会も中止となってしまいましたが、そうならないように気合を入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。私からは以上です。

○：今泉知久理事長

それでは質問も出尽くしたようですので採決に移りたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○：一同

異議なし。

【採決】挙手にて行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

渡邊雄也人財育成委員会委員長より一言

今ほどは承認ありがとうございます。これから実働となっていきますが、山本卓哉チーフが想いを持って作ってくれた議案書ですので、今コロナウイルスでなかなか集まりもできない状態ですが、新入会員の方に委員会メンバーと共に教えながら、しっかりと成長して当日を迎えたいと思います。先ほども言いましたが、本当に良いセミナーとなっておりますので、皆様ご参加の方よろしくお願い致します。ありがとうございました。

13. 協議事項

(1) 2020年度新年例会事業報告並びに決算（案）について

【説明】高田光財政局長

皆様お疲れ様です。新年例会の事業報告並びに決算になります。今回初めて新年会と別日で行った例会でございますので、皆様の忌憚のないご意見の方をよろしくお願い致します。

【説明】下条祐貴総務委員会委員長

新年例会の報告の方を挙げさせていただきます。今年度は新年会と新年例会が別日ということで、報告書にも新しく盛り込んだ点について記載させていただきました。皆様からの忌憚

なきご意見を頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

○：山本卓哉理事

当日参加していなかったため、特に意見はありません。

○：中村洋志理事

お疲れ様です。新年例会終わった後の二次例会を部屋の中で見させてもらっていましたが、私の認識だと二次例会って何かあるのかなという期待を持って参加していました。結果的に楽しかったのですがどうこうということはないのですが、懇親会と二次例会の差がわからなかったもので、違いが何かあれば教えて下さい。

A：下条祐貴総務委員会委員長

ありがとうございます。二次例会として卒業生の方を席を決めてその周りを委員会の方で囲んで頂いて、例会中に卒業生紹介した内容についてであるとか、これからの一年間の活動などについて話して頂きたいなという意図がありましたが、事前に説明がなかったのが至らなかった点だと思います。

○：中村洋志理事

そうですね。特に我々も説明は受けていませんでしたし、皆さんから当日そのような話の振られ方もなかったので、その辺の記載の方を実施上の問題点等に、次年度以降の引継として記載して頂ければ良いと思います。以上です。

Q：小川恭子理事

お疲れ様です。新年例会の監事講評の時に北澤晶監事がおっしゃっていましたが、事前にこういうことをやるという説明がなかったりで、まだこういうことがあるのかと言われていたと思います。事前にどんなことをするか知らされていないので、何のためにこれをするのかという趣旨がいまいち伝わっていなかったり、例年と違うのでスケジュールがわからないため少し長く感じた方もいたのではないかと思います。その点について議案に書いていないようですが、北澤晶監事の講評を受けて委員会で議論はありましたでしょうか。

A：下条祐貴総務委員会委員長

ありがとうございます。次年度への引継事項、改善すべき点①に挙げております。開催時間が例年と違ってこれまでになかったことを盛り込んでいたため、メンバーに飽きが生じてしまった。実施内容への不満として、先ほどおっしゃられたような内容もありました。事前の説明をして何のためにやるのかをきちんと周知しておけば防げたと思います。その点につきましては委員会としても協議して議案の報告事項の中に入れさせて頂いております。以上です。

Q：小川恭子理事

わかりました。具体的には、レジュメを作るとか、事前にメーリングリストで知らせるとかといったような具体的な行動については特に記載は無いようですが、その点いかがでしょうか。

A：下条祐貴総務委員会委員長

委員長所見の方で反省点として、新しい内容を、「目的を持って例年にはないことを盛り込んだのであれば事前の趣旨説明を入れるべきだ」というように、私の反省として書かせて頂いております。引継事項として、その点を追記させて頂きたいと思います。

○：矢澤貴史理事

ひと通り見させて頂きましたが私からは特に意見はありません。これでよろしいと思います。

○：兼古健太理事

参加者が90名ほどいますが、アンケートが50名ほどしかないのですが、対外の行事ではなくメンバーですのもう少し回収率を上げることができないのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

A：下条祐貴総務委員会委員長

ありがとうございます。アンケートにつきましては当日不備があり若干遅れてしまったということがありました。その点については各運営幹事に頼む、あるいは直接連絡してという形で対応すべきだったと思います。

○：兼古健太理事

検証する機会がアンケートしかないと思いますし、新しい試みも2つ、3つとありますので、委員長として壇上にいて委員長の紹介が熱が入って長すぎたと思う所があり、新入会員の人など、JCメンバーだと理解できますが、まったくわからない初見の人から見た場合に、初見の人には疲れたのではないかなと予想ができました。その辺についてヒアリングができればよかったと思いました。以上です。

Q：米山悟史理事

「3. 実施上の問題点」の③に、「2019年度100%例会出席の特別会員への対外案内文について、文面に少し違和感がありました」という記載がありますが、具体的にどのような違和感があったという指摘があったのでしょうか。引継事項で「特別会員からのご意見を参考にしながら」と記載がありますが、実際にどの部分であったのでしょうか。来年、この報告を見て新年例会の案内文を出すときに、何がどうだったのかがわからないと思いますので質問させて頂きました。

A：下条祐貴総務委員会委員長

資料にあります特別会員向けの案内文ですが、「メンバーが一丸となって同じ志を抱き新たな決意を持って・・・」といった部分について、特別会員にとっては重要ではないという意見がありました。特別会員には特別会員用のしっかりした文面を考えるべきかと思いました。

○：米山悟史理事

具体的に報告にもそのように記載があると、来年見たがわかりやすいと思いますので、来年見た人がわかるように記載して頂ければと思います。以上です。

次回再上程となった。

(2) 「一般社団法人長岡青年会議所 2020年度新年会」 補正事業計画書について

【説明】 細川一彦副理事長

久々に上程台に立って身の引き締まる思いでございます。遅くなりましたが新年会の方皆様ご参加ありがとうございました。損益分岐の方が参加人数が計画より足りなかったためマイナスになりましたので、その分補正としてあげさせて頂きました。お金については財政局長の方にご理解頂いて相手方には支払済みですのでその点加味して頂ければと思います。それでは土田慶和65周年特別委員会委員長より説明をお願いします。

【説明】 土田慶和65周年特別委員会委員長

初めての上程となりますのでお手柔らかによろしくお願い致します。まずもって新年会の補正議案が遅くなりましたこと申し訳ありませんでした。決算は完了していますが、人数の差異と映像で短縮した分で調整したのですが、マイナス差異がでてしまいましたのでここで修正予算を出させて頂きます。皆様の忌憚のなきご意見をよろしくお願い致します。

O：今泉知久理事長

予算の補正ということですので、その点についてご意見をよろしくお願い致します。

Q：丸山利彦理事

お疲れ様です。収支が赤字になったということで、保守的に見積もって事業繰入金を多くすればよかったということであったと思いますが、保守的に事業繰入金を多く見積もった場合他の事業に与える金額が少なくなってしまうことになりませんが、保守的に見積もって計画通りできれば事業繰入金が増えると思います。事業繰入金が増えた場合、委員会に戻してあげるというのは長岡青年会議所としては難しいでしょうか。

O：今泉知久理事長

高田光財政局長の方からお願いします。

A：高田光財政局長

基本的には年間予算は委員会単位で決めておりますので、新年会で出た利益は委員会年間予算に戻ります。寄付金があった場合、寄付金は加味しませんが、事業繰入金が残った場合、残った事業繰入金は委員会の年間予算に残ります。

O：丸山利彦理事

そういうことであれば理解しました。ありがとうございました。

O：今泉知久理事長

予算の補正ということですので、審議格上げしたいと思うのですがいかがでしょうか。

O：一同

異議なし。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

(3) 2020年度新年会 事業報告並びに決算(案)について

【説明】細川一彦副理事長

今ほどはありがとうございました。続きまして新年会の報告議案となります。新年会の方は来年以降も間違いなくあると思います。忌憚のない意見をお願いします。詳細は土田慶和65周年特別委員会委員長お願いします。

【説明】土田慶和65周年特別委員会委員長より

今ほどは修正議案ありがとうございました。まず皆様には事前のリハーサルからいろいろなご意見を頂き、ブラッシュアップして頂きましてありがとうございました。当日も皆様からお集まり頂きまして、滞りなく終わったかと思っております。小熊孝幸理事から事前質問として頂いたのですが、「今回新年例会と別日でしたが委員長としていかがでしたでしょうか」という所についてですが、委員会としては日程が決められないので記載しませんという回答をしたのですが、改めて小熊孝幸理事と話し合った結果、次年度への引継事項「(5) その他」として、追記として、「今回日程的に1月末ということで年明けから動いて余裕はあったことは良かった」という点と、「時間的・金銭的にメンバーの負担があった」という点を追記させていただきます。修正は一点となります。忌憚なきご意見よろしくお願い致します。

○：加藤弦太理事

お疲れ様です。今年度の新年会はだいぶメールでの参加確認でご苦労されたという印象を報告書から受けまして、はがきに変えた方が良いのではないかという意見も出ております。メールでは、メールが届いたかどうかの判定が難しいという点に関しては、今回、新旧のメーラーの更新が重なってしまった結果ということがありますので、通常メールが届かなかった場合エラーメールが帰ってきますので、通常のはがきが届かなかった場合よりは把握は通常ならば早いはずであると思えます。メールに切り替えているということで予算削減の面もあると思えますので、メーラーが新しくなったということで移行されてはいかがかなと思えます。

もう一点ありますが、次年度への引継事項に関して、新年会は特別会員などのメンバーのリストを一番使う所かと思えます。事務局でメンバーリストを統一してくれという意見があったかと思えますので、引継事項に加えられてはいかがでしょうかという意見です。

A：土田慶和65周年特別委員会委員長

まず一点目のメールでの出欠に関してですが、今年度に限ってメールシステムが旧メーラーから新メーラーに変わったタイミングで私が配信してしまって、特別会員から「メールが来ていない」というのが何件か連絡を頂いて、結果電話で確認することとなり、委員会メンバーに負担をかけてしまったということがありました。ただ、昭和46年以前の所ははがきが基本となっていて、その中でもメール希望の方がいらっしゃるということは去年から引

継頂いておりました。どうしてもメールとはがきが両方混在してしまうと思いますので、今年度私がやってみての引継事項としては、はがきや封書によって送った方が間違いなく返ってくるのでわかりますし、メールの場合はアドレスが変わったり、会社に届くのか個人に届くのかで変わってきたりして問題も起こるかと思っておりますので、今年の委員会としての引継事項としては、はがきや封書での発送・出欠確認について引継事項に書かせて頂きました。

○：加藤弦太理事

リストが統一されたということですので、それについても引継事項に加えられるてはいかがかと思っております。

A：土田慶和65周年特別委員会委員長

記載がありませんでしたので、「次年度への引継事項」の「(2) 出欠確認」の所に、「2020年度は特別会員のリストは事務局で一括管理することとなりましたので、最新の発送連絡等は、事務局を介してして下さい」と記載したいと思っておりますがいかがでしょうか。

○：加藤弦太理事

それで問題ないと思っております。ありがとうございました。

○：今泉知久理事長

先ほど言いそびれましたが、質問は一問一答でお願い致します。

○：長谷川繁理事

SDGsの取り組みの一環として募金をされたと思っておりますが、募金の金額が少なかったという点と、私も募金箱を持っている方の隣にいましたが、特別会員の方が対象ということもあり特別会員に対して募金をお願いしますと言いつらい場面がありました。この活動を来年以降も続けていくのかどうかなど、参考にするためにも反省点や引継事項に募金に関する事項を記載してはいかがでしょうか。

A：土田慶和65周年特別委員会委員長

ありがとうございます。所見で書かせて頂きましたが、初めてのことで準備不足もありまして、ユニセフさまとやり取りができない中で始めてしまったので、当日募金箱とパネルを持ってという程度で終わってしまったので、意味合いが伝えられなかったと感じておりました。今後については、所見に書かせて頂きましたが、引継事項として、活動は会としても大事な活動だと思っておりますので今後、新年会に限らずこのような活動は行っていった方が良いのではないかと考えておりますので、追記はしないという方向でいかがでしょうか。

○：長谷川繁理事

私としては来年以降どのようにしていったら良いかという点をどこかに残しておいた方が、今おっしゃった、「良い活動なので続けた方が良い」とか、続けるにしても今回伝わらなかったという点について記載しても良いかと思っておりますがいかがでしょうか。

A：土田慶和65周年特別委員会委員長

「3. 実施上の問題点」の「【本番当日】(1) 設営」の②だと中身が薄かったでしょうか。

○：長谷川繁理事

この問題点に対する改善として引継事項に記載してはいかがでしょうか。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

「4. 次年度への引継事項」の「【本番当日】（2）受付②」に「募金を行うのであれば、募金先と募金をやることの意義を明確に伝えてられるように工夫して下さい。」と記載させて頂いておりますが、いかがでしょうか。

O：長谷川繁理事

すみません。よく見ておりませんでした。わかりました。

O：今泉知久理事長

長谷川繁理事の言いたいことは、「どういう風なことを伝えればよかったのか」ということを具体的に記載すれば良いという意味かと思いますが、いかがでしょうか。

O：長谷川繁理事

出来れば「具体的にどうすれば良いか」記載して頂いた方が引継として良いのではないのでしょうか。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

今回ユニセフにさせて頂きましたが、他に募金先等はいくつもありますので、その辺の選定は担当の委員会に任せるということで、あまり今回のことについて細かく引継事項として記載せずに、今回は意義が大事という記載で留めたいと思いますがいかがでしょうか。

O：長谷川繁理事

わかりました。

O：白井忍理事

お疲れ様です。特別会員の方の顔がわかるように、ベテランメンバーを配置してはどうかという意見がありましたが、年々OBの顔がわからないメンバーが増えていく中で、新年会に来て頂ける来賓の方、OBの方はこの先も変わらず来て頂けると思います。その中で、例年出席して頂ける方については、誰が見てもわかるように写真でリストアップしておく等、面識が無くても顔がわかるような残し方をしてはどうでしょうか。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

すみません。もう一度お願いします。

O：白井忍理事

年々OBと面識のないメンバーが入ってくる中で、新年会に来て頂ける来賓の方、OBの方はこの先も変わらず来て頂けると思います。その中で、例年出席して頂けるOBや来賓の方の写真を残しておくことによって、面識が無い新入会員等でも顔がわかるようにしてあげれば、粗相のないように出来るかと思いました。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

最終案内等で出欠がわかっている場合は、席次表等を添付して、各々手帳で確認して頂ければと思います。いかがでしょうか。

O：白井忍理事

中には手帳の写真が遙か昔の物もあるかと思いましたが、最近の写真が見つけれられるようであれば、そういうものを保存しておくということも良いのかなと思えました。

A：土田慶和65周年特別委員会委員長

大事なことだと思いますが、現実問題、特別会員の写真を撮るのはなかなか難しいと思いますので、引継にも特に記載しない方向でいきたいと思います。

O：白井忍理事

わかりました。

O：丸山利彦理事

加藤弦太理事の質問にかぶりますが、「4. 次年度への引継事項(2)②」について、メールでの出欠確認について、「メールでの出欠確認は、送れたか送れないかの把握が難しいため」という記載がありますが、加藤弦太理事がおっしゃっていたように確認はエラーメールでできますので、先ほど土田慶和65周年特別委員会委員長がおっしゃっていた内容を細かく記載して頂いた方が、来年議案書を見る方にわかると思います。「把握が難しい」という記載は誤情報であると思います。確認自体は出来ると思いますので、その辺を追記して頂ければと思います。

A：土田慶和65周年特別委員会委員長

ありがとうございます。文章をわかりやすくして、追記させて頂きたいと思います。

O：丸山利彦理事

ありがとうございます。出欠確認の方もメールにするか、郵便で送るかはかなり重要な所だと思いますので、その辺をしっかり記載して頂ければと思います。

O：小熊孝幸理事

新年会設営お疲れ様でした。3つ事前質問させて頂いてご回答頂いておりますが、今一度答弁して頂きたいのが、出席率についてです。例年よりもかなりパーセントが低いという要因について、教えて頂けますでしょうか。

A：土田慶和65周年特別委員会委員長

ありがとうございます。まず一つは、当委員会として巻き込み不足がありまして、全メンバーに一人一人電話をしたかと言われれば正直していないという所がありまして、×の方でも直前で8名ぐらいいは○になったのですが、実際もっとやればもっとできたのではないかと感じております。あとは、今回別日となったことで、スケジュール的にも別会や新年会等で忙しい中でスケジュール的に厳しかったというのを電話の中で感じました。

O：小熊孝幸理事

ありがとうございます。本当にその通りであるとともに、別日だったからこそメリットもあったと思いますし、新年例会と同時にやれば出席率が増えた可能性もあつたり、メリットデメリットがある中で、事前質問で引継事項にも追記で書いて頂くということで、次年度で同時になるか別日になるかはいろいろな判断になると思いますが、私的には別日がすごく良かったと思います。

Q：小熊孝幸理事

個人的な質問ですが、去年から升がなくなったのですが、個人的に集めていました。今回升を用意するといった議論はありましたでしょうか。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

ありがとうございます。委員会内でも例年あったものでももちろん議論はありました。その中で毎年大量に席に残っていたり、準備すると経費がかさむという所で、今回マイナス収支が出てしまったということがありましたが、用意していたらさらにマイナスが増えていたということもあり、我々委員会の判断として升は必要ないという結論に達しました。

O：小熊孝幸理事

ありがとうございます。ちなみに調べられているかどうかですが、仮にアンケートを取る等して必要な人、欲しい人がいた場合購入すると結構な金額になったりすると思いますが、調べられましたでしょうか。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

ありがとうございます。たしか1個当たり500円くらいだったと思いますが、おそらく200個ぐらい頼んだ上での金額ですので、おそらく希望者だけで仮に20個だったりすると、その単価ではいけないと思います。また、会として出すものですので、希望者だけ配る、というのは話が違うのではないかなと感じますので、無い時は無いとして、必要であれば有りとして、全員に渡すという所が良いのではないかと考えております。

O：小熊孝幸理事

ありがとうございます。理解しました。

O：小熊孝幸理事

意見も出尽くしたようですので、審議の方に格上げされてはいかがでしょうか。

O：今泉知久理事長

先ほどの協議の中で持ち帰って修正するという部分がありましたが、改めて修正点を教えて下さい。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

ありがとうございます。修正追記部分として、丸山利彦理事、加藤弦太理事から頂きました、「実施上の問題点【事前準備】(2)②」の「特別会員へメールでの出欠連絡を行った際に、返事を送ったはず。など、把握しきれない部分がありました。」という記載について、今回は出欠を把握しきれなかった部分があったため、これに対する引継事項として、「4. 次年度への引継事項【事前】(2)②」に、まず「特別会員のリストは事務局で一括管理するので、事務局から情報を頂くようにする」という点と、「メールは有効であるが、確実に開封したという確認をして下さい」という文言を追記させていただきます。

O：今泉知久理事長

先ほど審議格上げの動議もありましたので、セカンドされる理事の方挙手をお願いします。

【セカンド】土田雅彦理事

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

(4) 「メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ」について

【説明】五十嵐佑一常任理事

お疲れ様です。4回目の理事会上程させていただきます。前回の理事会を経ましてブラッシュアップさせていただきました。詳細は荒木法子より良く長く委員会委員長お願いします。

【説明】荒木法子より良く長く委員会委員長

お疲れ様です。前回の理事会を経まして、背景と目的の見直し、それに伴い事業内容の精査をさせていただきました。また、活動量計を使用する理由や、1,000円補助をする理由、また、ホームページで確認出来る活動量計と体組成計のグラフ等の資料を追加させて頂いております。前回の理事会を経まして、市政だよりの掲載内容についての了承を理事会終了後に理事の皆様にお電話にてさせていただきますこと大変申し訳なく思っております。本当に申し訳ありませんでした。以後このようなことが無いようにしたいと思っております。4回目の上程となります。慎重なる協議をお願い致します。

Q：矢澤貴史理事

お疲れ様です。市政だよりの内容の話ですが、私も自分の家に市政だよりが来て見させていただきました。添付資料にも掲載した資料が載っていますが、前回理事会で協議した所というのは金額面の所だったと思うのですが、市政だよりの掲載内容が、前回の理事会にて承認したものと少し違ったものがあると感じております。掲載内容を見ると、長岡青年会議所の公開例会ではないように私には見えます。その理由というのは、「スタートアップ講演会「その気づきの価値〇〇万円」」の所に、「4月公開例会」という文言を入れるのが普通だと私は思います。前回理事会の市政だより掲載案の所に、「4月公開例会」を入れますという風に添付資料に載ってあったのですが、ここが記載されていない理由を教えてください。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

ご指摘ありがとうございます。その後いろいろと修正がございまして大変申し訳ございませんでした。市政だよりにつきましては責任編集が長岡市になっております。そのうえで、我々はこのように掲載をして下さいという旨をお伝えはもちろんさせて頂いております。担当につきましては、この枠に関しましては、すべて長岡市の担当課が担当として書かれるということで、長岡青年会議所に修正することができませんでした。また、スタートアップ講演会の掲載につきましても、タイトル部分については文字数の関係で難しいという形のご返答を頂きました。大変申し訳ございませんが、責任編集の方が我々ではなく長岡市だということでご理解頂ければと思います。

O：矢澤貴史理事

今、荒木法子より良く長く委員会委員長は文字数の関係とおっしゃいましたが、「参加型クイ

ズバトル」で9文字、「4月公開例会」は6文字なのですが、今既に載ってしまった所で、対外文章で市民の皆様目に触れていると思いますが、その中でも、「4月公開例会」というのは載せなければいけないと思います。市の方に任せたとっても、より精査して長岡青年会議所の公開例会でさせて頂くんですよというのが市民の皆様にもわかるようにして頂いた方が僕はよろしいかと思いました。もう既に掲示として出ているので、掘り返す所ではないのですが、また次回の事業をやられるときに、このような掲載文章の精査をより細かくやって頂ければと思います。以上です。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

ご指摘ありがとうございます。報告の方にもしっかり記載させて頂きまして、引継事項にも記載させて頂きたいと思います。ありがとうございます。

Q：小熊孝幸理事

お疲れ様です。4回目の上程ということもあり、やっと背景と目的がすんなり読めるものになってきました。質問ですが、流れを確認させてもらえればと思います。まず4月20日までに活動量計を利用する人を集めるという形でのよろしいでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

小熊孝幸理事には背景目的について何度も確認して頂き、アドバイス頂きありがとうございました。4月20日までに参加人数を集めたいと思っております。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。4月20日で活動量計を手に入れて、次に、モチベーションアップの施策として個人目標を選んで頂きますということで、買った人は、個人目標のA、B、Cをまず決めるということでのよろしいでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

ありがとうございます。目標のA、B、Cに関しましては、これに関して効果検証したいわけではなく、これはモチベーションアップの施策としての目標設定でございますので、決めて頂きたいと思っております。事前アンケートの方に記載させて頂いております。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。人それぞれ目標の内容が違うという認識でのよろしいでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

はい、違う形でのよろしいかと思います。私たちが目標としているのは毎日8,000歩を目指して頂くことで健康づくりの習慣化を促すということでございます。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。ということは、ベースは8,000歩という最低基準があつて、そこから人によってはAのような目標を立てる人もいれば、Bのような目標を立てる人もいるという考えでのよろしいでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

ベースは8,000歩を目指して頂きたいと思っております。A、B、Cに関しましてはそ

れぞれに目指して頂いて、常に自分の体を知って頂いたり、歩くことに意識を向けて頂くということで、目標として設定させて頂いております。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。そして、その後毎日8,000歩と5月、6月、7月のイベントの案内を出すということですね。もし正副とか理事会で意見が出ていけば教えてほしいのですが、途中参加は認められないということでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

この度は100日チャレンジということで、1日目から100日目ということで皆様と一緒にやりたいと思っております。途中参加は100日目が変わってしまうため、認められないのですが、活動量計を持つことはいつでもできますので、もしされたい方がいらっしゃいましたらその案内をさせて頂きたいと思えます。

Q：小熊孝幸理事

ありがとうございます。これを4月29日までやってもらい、データはローソン等でデータを吸い上げないと委員会の方でわからないということでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

5月、6月、7月のイベントに出て頂くタイミングでリーダーを持っていきますのでそれでもできますし、市内ではローソン等を含めて歩数を吸い上げる所はたくさんありますので、お手数ですがそこに行って頂くような形になります。

Q：西方太地理事

お疲れ様です。長岡市と共催ということですが、コロナウイルスの件で長岡市はどのようなことをしているか情報などありましたら教えて頂けますでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

長岡市の方針としましては、まだ長岡市では感染者が出ていないというフェーズでございます。そのうえで、500人以上の会については中止または延期、あるいは実施についての検討をしてほしいという状況ではありますが、またフェーズは変わるかもしれません。そのときになったらまた相談をさせて頂かなければなりません。現在共催させて頂いております長岡市の健康課さまや福祉課さまとは、23日に会議を開くタイミングで4月例会についてどのようにするのかについては話をしたいと思っております。ただ、事業に関しましては、基本的に外でそれぞれに歩いて頂くというのが目標になっておりますので、それに関してはそれぞれで出来ること、むしろ推奨出来ることではないかと思っておりますので、こちらの事業については実施の方向でお話ししたいなと思っております。

O：西方太地理事

ありがとうございました。質問は以上です。

Q：加藤弦太理事

お疲れ様です。変更点の一部で、活動量計とタニタ健康くらのサービスは1年で終わるということでしたが、更新しなかった場合、活動量計については返却ということでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

活動量計については手元に残ります。万歩計として、そのまま活動量計としてご使用頂ければと思います。

O：小熊孝幸理事

意見も出尽くしたようですので、審議格上げにはいかがでしょうか。

【セカンド】西方太地理事

【採決】挙手にて行われた。

【採決結果】全会一致を持って承認された。

(5) 5月公開例会「狼煙」～熱い想いで火を起こせ～ 西野亮廣氏講演会 修正予算案について

【説明】関光太常任理事

お疲れ様です。まちづくり委員会でございます。「5月公開例会「狼煙」～熱い想いで火を起こせ～ 西野亮廣氏講演会 修正予算案」について協議上程させていただきます。臨時理事会にて通過した議案であります。委員会一丸となって集客に動いている所でございますが、昨今の新型コロナウイルスの影響で市内の学校が休校となつて、思うように集客がいておりません。委員会内で追加で集客方法を盛り込んだ予算というかたちで挙げさせていただきます。詳しくは兼古健太まちづくり委員会委員長より説明させていただきます。

【説明】兼古健太まちづくり委員会委員長

まずもって今SNSの方で、5月公開例会の方を吉本さんのお話しをしまして、現状収束したらやる、収束しなければ延期を目指してやろうと思っております。その先のスケジュールが取れない等の話があれば中止も考えられます。その際には、今販売しているチケットは、延期の場合はそのまま使用する、また、中止の場合は払い戻す、延期でも延期の日程が合わない人には払い戻しをするという対応で今現状委員会として考えております。SNSの方で申し上げたのですが、理事会を通った議案であるのに、理事会にて報告が遅くなってしまったことを謝罪させていただきます。申し訳ありませんでした。コロナウイルスの影響で今回広告方法にいろいろ変更をしなければ集客につながらないかなという話を委員会でもみました。参考資料12の修正予算申請という所に、全て修正する内容が書いてあります。それに伴い、審議対象資料でも赤字になっている部分が修正されております。忌憚のないご意見をよろしくお願い致します。

O：今泉知久理事長

予算に対して修正となっております。忌憚のなきご意見をお願い致します。山本晃弘理事、ご意見いかがでしょうか。

A：山本晃弘理事

特に私からはございません。

○：今泉知久理事長

現在の状況を鑑みて、今出来るより良い最善の方法を模索した修正となっております。今理事の皆様からしばらくもって意見がないようであれば、このまま格上げに移りたいと思いますので、賛成出来る理事の方動議を挙げて頂ければと思います。

○：長谷川繁理事

格上げされて良いと思います。

Q：赤川朋哉理事

お疲れ様です。一つ確認させて下さい。修正予算書の13. 雑費なんですけれども、振込手数料の所に合同会社情報インターネットが2つ同じのが載っていますがあえて2つの分けた理由はありましたでしょうか。1回で終わらせれば880円で済みますが。

A：兼古健太まちづくり委員会委員長

新入会員の片桐君の会社なのですが、1回目のポスター等全部諸々印刷物頂いてまして、こちら1回目の支払いは事業後でなく早めに振込を頂きたいというお話を伺ってまして、2つに分けております。

○：赤川朋哉理事

事業後の振込でなければならないというのに抵触しないのであれば、それで良いかと思います。理解しました。ありがとうございました。

○：今泉知久理事長

高田光財政局長これは大丈夫でしょうか。

○：高田光財政局長

理事会で承認された予算は予算が執行されていて、それを元に払っているのも、事業前・事業後というのにこだわりはなく、理事会で承認された予算の通りに支払われていれば問題ありません。

○：今泉知久理事長

先ほど動議が出されておりますので、セカンドされる理事の方挙手にてお願いします。

【セカンド】 荒木法子理事

【採決】 挙手にて行われた。

【採決結果】 全会一致を持って承認された。

(6) 「2020年度 トレーニングセミナー 身につけよう！コミュニケーション ～ HOW TO KEEP RELATIONSHIPS ～」事業計画について

【説明】 大川俊泰常任理事

お疲れ様です。トレーニングセミナー2回目の協議上程よろしくお願い致します。まずもって前回理事会、正副の質疑応答の方が赤くなっておりませんでしたので、そちらの方修正でよろしくお願い致します。添付資料の方不備がございましたので、修正させて

頂いております。詳細については渡邊雄也人財育成委員会委員長よりよろしくお願い致します。

【説明】 渡邊雄也人財育成委員会委員長

お疲れ様です。2回目のトレーニングセミナーの上程となります。忌憚のないご意見の方をよろしくお願い致します。

Q：高頭直人理事

開催日が5月30日土曜日となっておりますが、小学校の運動会があるということもありまして、別日はお考えでしょうか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

ありがとうございます。実施日につきましては、運動会があるということは委員会の中でももんだのですが、午前中、午後と運動会のある方もいらっしゃると思いますが、ぎりぎり運動会が終わってから参加出来る時間を選びました。

O：高頭直人理事

承知しました。

O：今泉知久理事長

他、ご意見、ご質問お持ちの理事の方挙手にてお願い致します。

O：西方太地理事

そろそろ意見も出尽くしたようですので審議格上げいかがでしょうか。

O：今泉知久理事長

しばらくもってないようですので、格上げの動議に移りたいと思います。

【セカンド】 米山悟史理事

【採決】 挙手にて行われた。

【採決結果】 全会一致を持って承認された。

15. 報告・依頼事項

(1) 退会届について

【説明】 金子隼人専務理事

西巻克哉君より退会届が出ております。

(2) 長岡青年会議所謄本について

【説明】 金子隼人専務理事

理事の皆様は登記されています。登記されているので、青年会議所の理事という自覚を持って行動して頂きたいということと、理事会に出席して頂きたいということで添付させて頂きました。

(3) コロナウイルスの影響について

【説明】 今泉知久理事長

現状新型コロナウイルスに関する件につきまして、今多くの理事の方からもたくさんの意見・質問等を頂きましたが、実際我々スタッフの方でも頭を悩ませていることでもあります。現状我々の出来ることと言いますと、大きな動きに関しましてはやっぱり政府・行政の方針に従って動くような形となっております。実際、都度都度、我々スタッフの方で集まっておりまして、審査会であったり、正副であったり、理事会、各委員会の開催、各事業の開催、そういったものは定期的に連絡を取って柔軟な対応を心掛けたいなと思っております。どこを線引きにするのか、はっきりいつだということは言えない状況です。その中でもベストな判断をしていきたいなという風に思っております。出来ることであれば、やるやらないも理事の皆様から意見を頂いて進めたいのですが、どうしてもその都度状況は変わるという中でなかなか皆様が集まる中で意見を交わすというのは難しい状況であります。今後の進め方、判断については、正副のスタッフの方に一任して頂けないかと思っております。今このようなお願いをさせて頂いております。納得いかない方も出てくるかもしれませんが、皆さんが納得出来るようベストな判断をしていきたいと思っておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

3月例会に関しましては既に中止ということで連絡させて頂いておりますが、現状我々としてもやっぱりすごく怖いのは、休むことで歩みが止まってしまうというのが一番の懸念事項です。そうならないような活動であったり動きであったり、そういったものをしていきたいなと思っております。今、3月例会に関しましては小川委員長と一緒に、皆さんにメッセージを伝えたり、励ましたり、そういったことが出来るようなものを、動画として用意していきたいなと思っておりますので、引き続きご協力よろしくお願い致します。

【説明】 金子隼人専務理事

補足説明ですが、各委員会の方からもいつまでに返事しなければいけない等の情報を、都度都度正副の方に挙げて共有して下さい。よろしくお願い致します。

(4) 会員拡大に関する件

【説明】 渡邊雄也人財育成委員会委員長

何度も何度もになりますが、会員拡大の方が現在14名、残り18名となかなか厳しい状況となっております。コロナウイルスで誘いにくいという所もありますが、引き続き理事の皆様にも拡大の意識を常に持ってもらって、情報を共有してもらいたいと思っております。引き続き拡大の方をよろしくお願い致します。

(5) 20バスケボールクラブに関する件

【説明】 土田慶和バスケボール主将

2020年度第四会NBC会員交流バスケボール大会 in 雪国について案内が来ておりまして、日時は4月19日に松本で行われます。今年度4月18日に初めて前夜祭が行われるということで、理事長と担当開催実行委員長と話した中で、かなり面白い設えをして頂けるということでしたので、前夜祭だけでも良いので、皆様ご参加のほどよろしくお願い致します。

(6) 5月例会チケット販売に関する件

【説明】 兼古健太まちづくり委員会委員長

5月例会、チケットの告知が思うようにできておりません。まだまだチケット売れておりません。皆様近くに興味のある方セブンイレブンで、セブンチケットで購入お願い致します。セブンチケットは前の方から売れていきます。委員会としてもチケット用意していますが、そのチケットは後方になっています。後方でも良くて、セブンチケットで買うのが億劫だというお客様がいらっしゃいましたら、ぜひ委員会メンバーに一方頂けたらチケット用意致しますのでよろしくお願い致します。

(7) 4月例会に関する件

【説明】 荒木法子より良く長く委員会委員長

4月20日に4月例会を開催させて頂きます。先ほどご審議頂きましたメタボ会費100日チャレンジの方もこれから皆様に参加のお願いをさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

17. 監事講評 : 北澤晶監事

皆様理事会お疲れ様でした。本当にコロナコロナで今日の新聞も記事の半分ぐらいはコロナ関連の記事ということで、コロナの声を聴かない日はないという形になっておりますけれども、先ほど理事長の方からも話がありましたが、歩みを止めないという所で、まず最初に話をさせて頂きたいのが、このコロナの影響を理由として、できない理由、やれない理由になりかけているんだと思います。最終的にそれにすがってしまって、自分たちの事業、例会に手を緩めてしまったら、今年の12月最後に委員長は絶対後悔すると思います。あああの時に緩めなければもっと出来ることがあったなと後悔することになると思いますので、そういった点でも、個人の成長という点でも歩みを止めずに、青年会議所の活動としても、歩みを止めずにしっかりとやって頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

それでは本日の理事会を講評させて頂きます。協議事項として、新年例会の事業報告が挙がっております。新年例会の日程が別であったとかありましたが、その中でしっかりとまとめて頂いて、報告書は何のためにつくっているかという所を今一度委員会の中できちんと議論してもらいたいと思います。自分たちがきちんと振り返る、次の事業に繋げていくために振り返るという点もちろんありますし、来年以降それを参考により良いものを作ってもらう、という所もあります。そういうのを踏まえて、委員会できちんと議論することで委員会メンバーの学びにもなりますので、そういった所をしっかりと認識して、委員会の中で次につながる報告書としてまとめて頂けるようお願い致します。新年会の補正と決算の報告ということで、事業費で余った場合という話が出ておりましたけれども、そもそもの最初の予算の組み方によって判断は変わってくるかと思っております。委員会の総事業費をベースとして、この総事業費を委員会の中でどうやりくりするかをお任せしますよという裁量が委員会に与えられているのであれば、事業繰入金というのは余ったら戻せば良いと思います。収入が多くなったらそれにプラス

すれば良いと思います。マイナスになったら後の事業費を削って補てんすれば良いと思います。ただ、もう一つの考え方が、一つ一つの事業、例会というものの予算を最初に設定をして、その予算内に収めていく。それがイレギュラーで金額が多くかかってしまった、そのしわ寄せが次の事業、例会につながっていくという、それは本当に効果のあるものが出るのか、という考え方も当然あると思います。

まず最初の予算の組み方というのが、総事業費から委員会が裁量を持って行うものなのか、それとも最初に事業、例会の割付の金額の中で、それが足りなければ理事会の承認予算をもらっていくとか、そういった形になると思います。委員会の総事業費をみんな好きなように使って、最終的にお金が足りなくなったので委員会承認予算下さいというのは話が違うわけです。最初にくらの金額で例会をやるのか、いくらの金額で事業をやるのか、というのを考えてそう皆さんが最初に予算を割り振っているわけですので、そういった考え方は二通りあるということです。なので青年会議所としてお金のやり方をこういう風にしなきゃいけないよということではなく、執行部として、委員会に対してどういうオーダーが出ているかによって、お金が戻るのか、それとも本会計に戻すのか、という所が変わってくるのかなという風に思います。その辺の所は、臨機応変にその時の考え方でやって頂ければ良いのかなという風に感じました。続いて、より良く長く委員会、4回も上程されていたんですね。お疲れ様でした。皆さんが懸念しているというのが、行政の下請けみたいな事業になっちゃうのでは？という懸念であると思います。その考え方、イニシアチブをどこが持つのかというような考え方も出てくるかと思いますが、本当に社会に対してポジティブな変化をもたらしたいと思うのであればJ C単独でやるだけでは足りないのかもしれない。行政として進めたいという同じベクトルの上で協力することによって大きな変化をもたらせるというものもあるかと思っています。そういった視点で、どこが主導権を持ってやるのかというのが当然出てくると思います。行政として譲れない所もあるでしょうし、青年会議所としても譲れない所もある。そこの折り合いをつけられるのかどうかというのが、タッグを組んでやれるかどうかという所の大きな線引き、ラインになるかなと思います。そして荒木法子より良く長く委員会委員長が長岡市議であるという所もまた皆さんのフィルターとなっているということもあるのかなと思います。本当に客観的にみたときに効果的に出来る事業なのか、社会にポジティブな変化をもたらせる事業なのかどうかという視点でみたときには、またちょっと違った意見も出てくるのかなというものは感じました。実際にこれから実働に移っていくわけですので、今日この承認をした理事の皆さんもこの事業を本当に成功に導けるようにバックアップをして頂いて、実施された際には、多くの人達が健康を意識出来るようなきっかけに出来る事業として、長岡市と協力して出来るように協力をして頂きたいという風に思います。よろしくお願い致します。5月例会については、この事業が通った時も私は監事講評をさせてもらって、もっとより良くなるものがあれば修正で挙げて下さいというような話をさせて頂いたのですが、すごく臨機応変な対応をしようという所で、計画を練り直して、予算が必要であれば再上程するというそういった対応をして頂いたのがすごい良い足跡を残してくれたのかなと思います。こういったスケジュールを前倒しで通していくこと

によって、フレキシブルな対応が出来るということも、J Cとして可能なんだという一つの足跡だと思います。皆様も各委員会の中で変更を余儀なくされる場面というのはあると思います。それが後手後手に回ってしまうと後から数字のつじつま合わせをするような補正の予算を取らなければいけなくなったりとか、もう終わってしまったからしょうがないな、頭を下げるしかないなという場面もあろうかと思えます。その時に振り返って、もっと早くあれができていればよかったな、こういう議論ができていればよかったなということを反省点として活かしてもらわなければいけないということも当然あると思えます。J Cは理事会も通さなければいけない、その前に正副も通さなければいけない、予算執行主義でやらなければならない、という所では縛り強いのかもしいないですが、こういった理事会の場面というのは有効に活かされれば、まだ可能性というのはあるんだなというのは、今回こういった修正をして頂いたことで良かったなという風に感じましたので、こういった行動が、議案の上程が出来るような組織として進んでいけるように皆さんも念頭においてこれから事業計画等、委員会の中でもんでいって頂ければという風に思えます。続いてトレーニングセミナーですが、こちらも開催がどうなるのかということがまたあったりとか、例年運動会があったりとかで参加できない人がいたりというようなマイナスの要素もありますが、私もこのセミナーは委員会で出席させてもらったときに受けさせて頂いて、すごく為になるなという風に思いました。人とコミュニケーションをとるにしろ、誰かに物事を伝えようというものにしろ、やはり自分一人の考え方ではなくて、相手がどう思っているのかとか、そういったことをきちんと念頭に置きながら会話が出来ると、そういったトレーニングって日々の中でそれが鍛錬されてる人もいるかもしれないし、そういう機会があまりない人もいるのかなと思えます。営業の人だったら割と得意なのかもしれないし、職人の人だったらあんまり得意ではないのかもしれないし、そういった様々な気づきというのはこのトレーニングセミナーで得てもらえるのかなという風に私も感じております。ぜひ多くのメンバーに参加をして頂いて、その成長というのをまた社業、J Cの中で活かしてもらえるように、これからまだやらなければならないことはたくさんあるかと思うので、歩みを止めずにしっかりと構築して進めていって頂きたいなという風に思えます。最後に、休会とか退会というのが年間の中でぽつぽつ出てくるのですが、当然委員会でフォローしているのだと思えますが、退会者が出てきてしまう、休会者が出てきてしまうというものがやっぱり損失なわけです。J Cとしては損失で、ましてやなかなか人が入ってこない、会員拡大苦戦してますという所もあると、今いるメンバーがなるべくアクティブにJ Cの活動をしてもらえるような、そういった取り組みをしっかりとしていかなければならないなという風に思えます。このコロナの影響でWebで委員会をしましょうとか、そういった形も新たにチャレンジしている所だと思うんですけど、そういった今まで発想はあったけどやっぱり昔ながらの顔を合わせてが一番良いよねというので踏み込めなかったものをこのコロナでチャレンジできているというのは、また一つ成長の機会でもあるし、そういったものを活かすことによって今まであまり出れてなかった人とかがそういった人がまたJ Cに参画出来るきっかけになると、新しい形での青年会議所の活動というのが出てくるのかなという風にも思っております。新しいことをどんどんチャレンジ

していこうという発想のもと、今泉知久理事長は進んでおりますので。実際にはこのコロナの中で決断をしなければいけないというものが多くて、理事長もなかなか気の休まる時間がない所で大変かと思いますが、これをチャンスとしてある一面ではとらえて、様々なことにチャレンジして行って頂きたいなと思います。時間が30分くらい超過した理事会でしたが、皆様大変お疲れ様でございました。以上で監事講評とさせていただきます。

以上